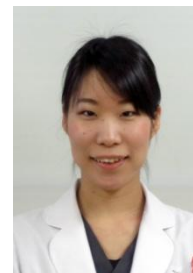


和歌山病院実習感想文



古市 瑞歩

今回は、2017年2月21日、23日の2日間、お忙しいにもかかわらず、熱心に指導して頂きありがとうございました。

南方病院長には、胸部レントゲンの読影方法を基礎から教えていただきました。私は、もうすぐ1年間のポリクリを終えようとしていますが、恥ずかしながら胸部レントゲンの読影は「何となく」でしかできませんでした。南方先生の講義を受けて、それは、今までの私の勉強方法が、曖昧な解剖やレントゲンの機序と単なる暗記に頼りきったものであったためだと気付かれました。簡単には答えを教えて貰えない、とことん考えさせられる先生の講義は、近年暗記ばかりしていた私には刺激的でしたし、理解を深めてくれました。

駿田副病院長には、結核についての講義と結核病棟の案内をしていただきました。結核という感染症は非常に恐ろしく、結核病棟は閉鎖的だろうという想像をしていましたが、実際は想像とは全く異なるものでした。実際の医療現場を見学することで、感染を予防するためにどの程度の感染防御が必要であるのか、どの程度の処置が必要とされるのかなど正しく理解することができました。

南方先生や駿田先生を始めとして多くの先生方、職員の方々にご指導頂き、大変充実した実習となりました。本当にありがとうございました。